



# 第4期中期目標期間へ向けた国立大学法人の在り方にかかる検討課題について (中間まとめ)

## 国立大学の基本的な役割

- ✓ 世界最高水準の研究・教育の実施
- ✓ 重要な学問分野の継承・発展
- ✓ 知の循環と社会への還元
- ✓ 全国的な高等教育の機会均等の確保
- ✓ 新たな価値を創造し、社会基盤の構築を先導する人材を育成・輩出
- ✓ 地方創生の中核として地域・産業界と連携し多様な社会課題に対応



## 第4期中期目標期間に向け強化・拡張する役割

- ✓ 災害や感染症等にも対応する、持続可能な高度にレジリエントかつインクルーシブな社会の構築
- ✓ デジタル技術を駆使した教育・研究・社会貢献の機能強化
- ✓ 人工知能（AI）技術、ビッグデータ解析に長けた人材育成の中核機能
- ✓ 様々な地域に住む国民のすべてが発展・成長するため、地方創生の中核としての役割を強化

**我が国の更なる発展に向け、未来の社会に対し責任と役割を果たし、これまで以上に地域、国、世界に貢献**

これまでの役割に加え、新たに強化・拡張する役割をも果たすために必要な事柄を提言

### 中期目標・中期計画の在り方

1. 国立大学の特色やビジョンを明確に示すものとするべき
2. 中期目標・中期計画数を精選するとともに、多様なステークホルダーに伝えるための記述とすべき
3. 世界の学術動向や社会情勢の変化等に応じた中期計画の見直しを柔軟化すべき
4. 法人評価のサイクルやほかの評価の仕組みとの関係を見直し、評価を効率化すべき
5. 国は、中期目標を、法人の意見を聴き配慮したうえで示すとともに各法人はその中から特性に応じて自らの目標案とすべき

### 機能強化のための財政支援の在り方

1. 「3類型」は廃止すべき
2. 機能強化のための新たな財政支援措置を創設すべき

### 経営基盤強化に資する規制緩和等

1. 学生定員管理等について柔軟な制度を検討すべき
2. 自主財源の獲得を促す多様な規制緩和を行うべき
3. 経営効率化のため必要な規制緩和等を行うべき

### コロナ新時代におけるデジタル技術を駆使した機能強化

1. オンラインを活用した新たな教育の質の向上を実現すべき
2. データ駆動型研究、オープンサイエンスを先導するとともに、国際的な視野で研究のオンライン化を推進すべき
3. コロナ新時代における大学病院の機能維持・向上のため、省庁の垣根を越えた財政措置を行うべき
4. デジタル技術を活用した労働環境の整備を進めるべき

### 戦略的な大学経営の在り方

1. 国からの財政措置は、未来への投資として増額すべき
2. 国立大学法人の教育研究活動の評価は、ピアレビューに基づくべき
3. 社会から一層の理解を得られる国立大学法人会計制度とすべき